

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	カウンセリング		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	心理実習室
担 当 教 員	畑中ひかる 飯塚稔	実務経験と その関連資格	(飯塚)オンライン産業カウンセリング(株)STARGATE 元代表取締役・カウンセラー			
《授業科目における学習内容》						
代表的な心理療法とカウンセリングの歴史、概念、意義、適用、限界をはじめ、訪問やコミュニケーション等を広く学び説明できるようにする。 また、人間の行動の本質を知ることにより、心理学的支援法の理解が深まり、より効果的なスキルを持てるようになります。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10% *ロールプレイ時の意欲や態度も評価する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
テキストは用いない、その都度に関連資料を配布する。ビデオ・DVD視聴数回。						
《授業外における学習方法》						
授業前、授業日のシラバスに目を通すことと、授業後、その日の配布プリントに目を通す。						
《履修に当たっての留意点》						
幸せとは、何かが解ります。ただし、授業全体を通して解ることになると思うので、極力休まないように。また、疑問があれば、できるだけ、その時その場で質問してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	講義全体の趣旨及び計画や方法を理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	「カウンセリング」について、正しい理解をしてもらうことが最大の目的であり、そのためにカウンセリングの基礎的な知識を体系的に学ぶことなど。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングの定義・目的・三つの要素の理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	カウンセリングは、本人自身が解決できるようにするのであり、あくまでもその為の援助であり、定義・目的・三つの要素について十分に理解してもらおうとセラピーとの違いなど。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングと心理学についての関連を理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	心理学の定義やその要素がどうカウンセリングとに生かされているのか。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングのいろいろな手法に共通することを理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	言語と非言語・リレーション(ラポール)・傾聴受容共感・倫理(守秘義務など)・インフォームドコンセントなど。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングのいろいろな種類を理解し、説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。	
		各コマにおける授業予定	それぞれのベースになる理論や手法の基礎を説明する。(精神分析・自己理論・行動療法・認知療法・認知行動療法・現実療法・ソリューションフォーカスアプローチやエンカウンターなど)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリングのいろいろな種類を理解し、説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	それぞれのベースになる理論や手法の基礎を説明する。(精神分析・自己理論・行動療法・認知療法・認知行動療法・現実療法・ソリューションフォーカスアプローチやエンカウンターなど)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	現実療法の内容(概略)の理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	現実療法の成果や特徴及び他の療法との違いなど。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	選択理論心理学の基本的欲求(人間の行動の動機)の理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	5つの基本的欲求(愛所属・力価値・自由・楽しみ・生存)及びその特徴。カウンセリングとの関係。幸せとの関係。他人との関係。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	選択理論心理学の基本的欲求(人間の行動の動機)の理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	5つの基本的欲求(愛所属・力価値・自由・楽しみ・生存)及びその特徴。カウンセリングとの関係。幸せとの関係。他人との関係。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	選択理論心理学の願望(人間の行動の目的)の理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	願望とは何か。その特徴は、どのように形成されるのか。カウンセリングとの関係。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	選択理論心理学の願望(人間の行動の目的)の理解し説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	願望とは何か。その特徴は、どのように形成されるのか。カウンセリングとの関係。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	選択理論心理学の行動のシステム(人間の行動のメカニズム)を説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	人間の行動のメカニズム(全行動＝行動の4要素)及びその特徴。カウンセリングとの関係。自己評価。苦しみを選ぶ4つの理由。セルフコントロール。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	選択理論心理学の行動のシステム(人間の行動のメカニズム)を説明できるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	人間の行動のメカニズム(全行動＝行動の4要素)及びその特徴。カウンセリングとの関係。自己評価。苦しみを選ぶ4つの理由。セルフコントロール。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリング理論の全体的理解と説明ができるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	前期の復習(前期の総まとめ)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	カウンセリング理論の全体的理解と説明ができるようになる。	配布資料	当日のシラバス及び前回の配布資料に目を通す。
		各コマにおける授業予定	前期の復習(前期の総まとめ)		